

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	造園管理学					授業形態	講義		
科目コード	231900	単位数	2単位	配当学年	3年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	牧田 直子								
授業概要	<p>造園空間は施工された時点で終わることがなく、むしろそのあとの管理が大切である。 管理とは維持管理＝Maintenance、運営管理＝Managementと2つの視点から解説する。 本授業では、主な対象地を都市公園に設定し、最新事例を紹介しながら造園空間の管理について、専門用語や手法の理解、適切な管理方法（技術や理論）、運営方法を学ぶ。 さらには、問題点を発見し、適切な運営管理方法が提案できる能力を習得することを目指す。</p>								
関連する科目	<p>本授業を受講する前に造園学概論、造園植栽論を受講し、造園施工管理の概要や造園空間における植栽について学ぶことが望ましい。 また、植物の生態、害虫などの基本知識があることが望ましい。</p>								
授業の進め方 と方法	<p>座学型、アクティブラーニング型を併用して実施する。座学型では技術や事例紹介を行いアクティブラーニング型では管理方法や運営方法についてグループで討議する。 また課題発表もある。</p>								
授業計画 【第1回】	<p>1：造園管理総論 造園とは、管理とは、基本用語とその意味について解説する。</p>								
授業計画 【第2回】	<p>2：造園空間の管理計画の考え方 造園空間とはどのようなものか、管理計画の立て方にとって大切なPDCAの考え方を解説する。</p>								
授業計画 【第3回】	<p>3：草花管理、草地管理 花壇、草地（修景地など）で用いられる植栽とその管理方法について学ぶ。学内、フィールド教育センターにて実際の植栽を見て学ぶ。</p>								
授業計画 【第4回】	<p>4：芝生管理 造園空間における芝の特性と芝刈り、除草、灌水、施肥、病虫害防除、目土かけ、エアレーションなど芝生の管理方法を学ぶ。</p>								
授業計画 【第5回】	<p>5：施肥・病虫害防除・除草・灌水 造園空間における施肥の方法・病虫害の種類と防除・雑草の種類・灌水方法について学ぶ。</p>								
授業計画 【第6回】	<p>6：樹木管理 都市公園における樹木の整枝・剪定・整姿、刈り込み方法、日本庭園に見る剪定、刈込、剪定法について学ぶ。</p>								
授業計画 【第7回】	<p>7：課題発表① 10種類の草花を選びその管理方法について調べ、管理マニュアルを作成する。その内容を発表する。</p>								
授業計画 【第8回】	<p>8：樹林管理 造園的視点から、里地里山の役割とその管理について学ぶ。</p>								
授業計画 【第9回】	<p>9：施設管理、特殊緑化管理 都市公園に設置されている遊具や施設、屋上緑化などの特殊施設の管理について学ぶ。</p>								
授業計画 【第10回】	<p>10：造園施工管理 施工管理（スケジュール管理、管理方法、安全管理）について学ぶ。（造園学概論で学んだ造園施工管理士2級の内容を試験問題を復習）。</p>								
授業計画 【第11回】	<p>11：都市公園の運営管理 都市公園の種類や指定管理者制度について学ぶ。</p>								

授業計画 【第12回】	12：文化財日本庭園の管理 文化財に関する法律、文化財における造園空間について学ぶ。京都や東京における文化財庭園の管理運営について実例や研究論文を解説する。
授業計画 【第13回】	13：庭園や公園の運営手法（利活用、PR、インターネットの活用等） 都市公園の利活用について、Park-PFIをはじめ最新事例から学ぶ。海外の公園の管理運営に関する事例についても解説する。
授業計画 【第14回】	14：課題発表② レポート課題「近隣の都市公園の管理」について、調査した内容を発表する。
授業計画 【第15回】	15：総括 1～13までの内容について重要なポイントを復習する。（14で発表時間が足りない場合は15で実施する）
授業の到達目標	造園空間、特に都市空間において必要な管理、運営方法、技術、法規を理解し、造園空間における現場での確かな管理を提案及び実施できるための基礎知識を身につける。 適切な管理で造園空間の価値を高めることが可能であることを理解する。 【専門分野の知識・理解】【課題発見・分析・解決力】【プレゼンテーション力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外の学修 【予習】	テキストを読み、あらかじめ理解を深める。 課題を行う。
授業時間外の学修 【復習】	授業でとったメモ等をまとめなおし、ノートを作成する。 授業中に解説したキーワードや専門用語を覚える。 課題を行う。
課題に対する フィードバック	課題（レポート）返却、試験解説
評価方法・基準	課題①（発表および提出）10%、課題②（発表および提出）50%、試験（40%）
テキスト	プリント資料を配布。
参考書	授業時に紹介する。
備考	